



写真1 心字池と紅葉

清水谷公園

清水谷公園は、千代田区紀尾井町にある区立の公園である。広さ約一万平方メートルを超える敷地には季節の樹木が植えられ、11月の下旬には紅葉の見頃を迎える。園内にある心字池に佇めば、水面に映る紅葉に目を奪われる(写真1)。高層ビルに囲まれた清水谷公園は、まさに都会のオアシスである。

公園のある紀尾井町はその名のとおり、江戸時代の紀伊(紀州徳川家)、尾張(尾張徳川家)、井伊(井伊家)のそれぞれの屋敷があった場所である。紀州徳川家と井伊家の境からは清水が湧き出し、この一帯は清水谷と呼ばれていた。

清水谷公園には、区の指定文化財である「玉川上水の^{いしまた}石枡」が展示されている(写真2)。江戸時代に建設された「玉川上水」の江戸市中における本管の一部で、1970年(昭和45年)の国道20号線拡幅工事の際に同区麹町三丁目2番地先の道路で出土した。石枡は、4段に積んだ大規模な構造を持ち、1段目と2段目にまたがる部分に水道管の役割を果たす木樋を通し、木樋と木樋とを繋いだ。展示の石枡からは、木樋の挿入口が伺える。石枡とともに出土された木樋は、区立日比谷図書文化館で保管されている。

<参考>

○清水谷公園

<https://www.canadainternational.gc.ca/japan-japon/index.aspx?lang=jpn>



写真2 玉川上水の石枡

